

2023年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（心理学研究室）
出題の意図	心理学、心理学研究法、統計学の考え方、基本的な用語・概念、心理学の発展に貢献した人物についての知識を問うために「語句問題」を課す。また、それらを応用して人の行動や様々な現象について考える力、基礎的な実験を計画する力、特定の実験方法・データ分析を客観的に評価したり対案を出したりする力、統計学の基礎的知識を応用する力、さらには実際にデータを分析し結果を解釈する力などを問うために「文章問題」を課す。

2023年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 心理学 全3枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 3枚、解答用紙 6枚を配付する。

解答用紙は全部で6枚ある。問1から問3については、それぞれ1枚ずつ解答用紙を用いること。問4は8つの用語のうち5つを選択したうえで、1枚の解答用紙を用いること。残り2枚は下書き用とする。

問1

知覚心理学の実験を実験室で対面実施する場合と、クラウドソーシングサービスを用いて遠隔実施する場合とを比較して、それぞれの利点、欠点を指摘しなさい。そして、それらの欠点を解消するためにどのような対策が考えられるか、論じなさい。

問2

グループでカラオケに行くと、聴いている人たちは思わず耳を覆いたくなるにもかかわらず、歌っている本人は気持ちよさそうに陶醉しきっている場面に出くわすことがある。このような歌手の問題点を認知心理学的に解明するには、どのようなことを検証する必要があるか、述べなさい。

問3

A大学の男子新入生の10年前の平均身長は170.2 cmであった。今年度の男子新入生を100人無作為に選んで調べたところ、平均身長は171.4 cmであった。A大学の今年度の男子新入生の身長は、10年前と比べて有意に異なると言えるか、5%水準で両側検定したい。必要であれば別添の表を用いること。

- a. この検定における、帰無仮説と対立仮説を述べなさい。
- b. 身長は母分散 36 cm^2 の正規分布に従うものとする。この仮定を基に検定を行い、結果を報告しなさい。
- c. 母分散は未知であるが、100人の標本から求めた不偏分散が 49 cm^2 であったとする。この仮定を基に検定を行い、結果を報告しなさい。

問4 次の人名・用語を簡単に説明しなさい。ただし下記8つのうち5つを選択して解答すること。（5つを超えて解答した場合、点数の上位から5つ分のみを最終成績の対象とする。）

- ① W. ペンフィールド (Wilder Penfield)
- ② 経験サンプリング法 (experience sampling method)
- ③ オプティックフロー (optic flow)
- ④ おばあさん細胞 (grandmother cell)
- ⑤ 仮現運動 (apparent motion)
- ⑥ カウンターバランス (counterbalancing)
- ⑦ 神経伝達物質 (neurotransmitter)
- ⑧ 結合音 (combination tone)

略(標準正規分布表)

略(t分布表)